

教科間や学年間での目線合わせや
研究授業の実施などを通じて
授業改善に力を入れてきた成果もあり、
主体性や積極性の面で生徒の成長を
感じています。

1年次からの計画的な進路ガイダンスに加え、今後は
面談の機会を増やし、
生徒を精神面で支えていきます。

地方公立高校
管理職

新「高3指導」考

首都圏公立高校
進路部

毎年9月の2学年の学年集会で、
受験生への意識づけをしていますが、今年は、
**受験を自分事と考えていない生徒が
例年より若干多い**と感じています。

ただ、3年次までの指導の流れを確定させ、
その流れに生徒を乗せることができているので、今後は
**ポートフォリオをきちんとつくることを
徹底させていきたい**と考えています。

高校2年生の3学期は、これまでも「高3・0学期」と呼ばれ、大学進学を目指す生徒に受験生としての自覚を持たせるべく、指導の切り替えをする時期として重要視されてきた。現2年生は、制度変更後の大学入試を初めて受ける世代であり、そうした環境変化も踏まえると、「高3・0学期」における指導の切り替えは、一層重要なものとなるだろう。また、それは3年次の指導につながるものでなくてはならない。そこで今号では、現2年生から始まる、新たな「高3指導」について、0学期を起点に考えていく。

私立高校
総務部

現状では生徒の意識に大きな変化は
見られませんが、今後は、
**高校時代までの活動経験を利用した
推薦・AO入試の受験希望者が多くなる**
のではないかと感じています。
これまで個別対応だった指導を
全体での指導にすることも
検討しています。

特集

0学期からの

2年生に入学からの1年半の学習を
振り返り、入試に向けて取り組むべきことを
考えさせたところ、
多くの生徒が普段の学習の重要性を挙げていました。
それをいかに行動に移させるかが、今後の鍵。
**高3・0学期中に、第1志望へのこだわりを
言語化することをゴール**
として指導を進めます。

地方公立高校
進路指導主事

* 2019年度の高2生の指導状況について、『VIEW21』高校版読者モニターアンケートで聞いた
結果（アンケートは2019年10月にウェブとファクスで実施。回答数は81）を基に作成。

実践3

推薦・AO入試の 指導

東京都・私立
広尾学園中学校・高校

p.16

実践2

面談指導の 強化

岡山県立
倉敷青陵高校

p.12

実践1

思考力・判断力・ 表現力等の育成

新潟県立
長岡高校

p.8

座談会

自走できる 学習者を育てるために 「高3・0学期」から できること

p.4